

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築設計製図Ⅲ		担当教員	藤田大輔		
学年学科	5年 建築学科		前期	選択	2単位(学修)	
学習・教育目標	(B-2) 12% (D-3創生) 55% E 33%		JABEE 基準 1 (1): (c), (d)			
授業の目標と期待される効果： 建築設計製図の集大成として、教員から示されるテーマを手掛かりに学生自ら具体的に課題を設定し、設計を進める。 ・自ら課題を発見して建築の企画・作成能力をつける。 ・企画を空間として具体化する能力を磨く。 ・CAD・CGを駆使して、デザインを行う能力を磨く。 ・計画を相手に的確に伝える能力を高める。			成績評価の方法： 達成度評価の基準を鑑み、提出された作品を対象とする。また、課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 下記の達成度を基準とする ①説得力のある設計テーマが設定できる（6割以上）。 ②企画を十分練ることができる（6割以上）。 ③企画を具体化する魅力的な建築等がデザインできる（6割以上）。 ④計画内容に即した適切な表現ができる（6割以上）。			
授業の進め方とアドバイス： 設計製図の集大成として自ら計画を立て、主体的に進めていくこと。 設計のために必要な最大限の資料や情報を自ら検索し、整理することを勧める。 計画を考える際には、手を動かし文字や形にしながら考えを進めることが重要である。						
教科書および参考書： ・日本建築学会編 コンパクト建築資料集成（丸善） ・各種建築雑誌、建築論等の書籍、その他必要な情報は各自収集すること。						
授業の概要と予定：			教室外学修		ALのレベル	
第 1 回：概論・課題の提示			—		—	
第 2 回：エスキース 1（企画・コンセプトの検討 1）			授業進行に対応した内容（平面図、立面図、断面図、スタディ模型）のエスキースを授業までに作成		B	
第 3 回：エスキース 2（企画・コンセプトの検討 2）						
第 4 回：エスキース 3（ダイアグラム・基本プラン作成）						
第 5 回：エスキース 4（平面図 1）						
第 6 回：中間発表 1（ポスターセッション形式）			発表練習を事前に行う		A	
第 7 回：エスキース 5（立断面図 1）			授業進行に対応した内容（平面図、立面図、断面図、スタディ模型）のエスキースを授業までに作成		B	
第 8 回：エスキース 6（平面図 2）						
第 9 回：エスキース 7（平立断面図）						
第 10 回：エスキース 8（全体計画整合性の確認）						
第 11 回：中間発表 2（ポスターセッション形式）			発表練習を事前に行う		A	
第 12 回：エスキース 9（プレゼンテーション 1）			図面化作業を進める		C	
第 13 回：エスキース 10（プレゼンテーション 2）			図面化作業を進める			
第 14 回：講評会			発表練習を事前に行う		A	
第 15 回：フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法説明）			—		—	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	①説得力のある設計テーマが設定できる（8割以上）。	①説得力のある設計テーマが設定できる（6割以上）。	①説得力のある設計テーマが設定できない。
②	②企画を十分練ることができる（8割以上）。	②企画を十分練ることができる（6割以上）。	②企画を十分練ることができない。
③	③企画を具体化する魅力的な建築等がデザインできる（8割以上）。	③企画を具体化する魅力的な建築等がデザインできる（6割以上）。	③企画を具体化する魅力的な建築等がデザインできない。
④	④計画内容に即した適切な表現ができる（8割以上）。	④計画内容に即した適切な表現ができる（6割以上）。	④計画内容に即した適切な表現ができない。